

エコアクション21

環境活動レポート



環境省
エコアクション21
認証番号 0010513
(認証範囲：サイト認証)

(令和6年度版)

運用期間：令和6年4月～令和7年3月



美しい環境を守る。

今、私たちの出来る事を！

ALSOK 山口サービス株式会社

令和7年11月7日発行

環境方針

基本理念

地域の発展に貢献するために、病院、官公庁、オフィスビルのビル管理業務、清掃業務、建物・設備の維持管理業務、産業廃棄物収集運搬などを行っている ALSOK グループです。

環境経営理念としての環境基本法をはじめ循環型社会形成推進基本法、エコアクション21の環境経営システムを理解し構築・運用することにより環境保全への取組みを継続的に展開します。また、地域の皆様と共生できる企業として快適な生活環境の保全に努めることを念頭におき各業務の遂行に当たっております。

行動指針

一般廃棄物及び産業廃棄物、医療関連施設からの特別管理産業廃棄物の収集運搬業務、医療施設維持管理業務における環境経営システムを構築・運用し継続的な取組みを推進するために、この行動指針に基づき、環境目標及び活動計画等を定め、実行性のある活動を積極的に展開します。

1. 二酸化炭素の排出を削減します。
 - ・エコドライブを実施し社用車等の燃料使用量の抑制を行います。
 - ・節電を励行し低電力消費環境づくりを目指します。
2. 廃棄物排出量の削減を行います。
 - ・カーボンニュートラルに向け排出を抑制すると伴にリサイクルを推進します。
3. 水使用量の削減を行います。
 - ・節水に努め、水使用量を削減します。
4. 環境に良い商品・サービスを提供し、グリーン購入を推進します。
5. 環境基本法等の環境関連法規を遵守します。
6. 地域社会と良好な環境コミュニケーションを図り、地域の環境保全に努めます。
7. この環境方針は、全従業員に周知するとともに、研修や教育を行い環境保全に向けた意識の向上に努めます。
8. この環境方針は広く一般に公表します。

令和 7 年 7 月 16 日制定

ALSOK 山口サービス株式会社

代表取締役



1. 事業概要

1. 名称及び代表者名

ALSOK 山口サービス株式会社 代表取締役 三浦 学

2. 所在地

- ・本社 〒751-0875 山口県下関市秋根本町二丁目町 6 番 22 号
- ・ファシリティマネジメント部収集運搬課 〒750-1141 山口県下関市小月幸町 5 番 6 号
- ・ファシリティマネジメント部施設管理部 〒750-0041 山口県下関市向洋町 1 丁目 13 番 1 号
下関市立市民病院受託業務

3. 環境管理責任者氏名並び連絡先

環境管理責任者 ファシリティマネジメント部 次長 仙田 和弘
TEL (代) 083-282-9128 FAX 083-282-9132

4. 事業内容

ビル管理業務、清掃業務、産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬業務、施設維持管理業務

5. 資本金 10 百万円 売上高 468,945 千円 (令和 6 年度)

6. 法人設立年月日 昭和 55 年 6 月

7. 事業規模 令和 7 年 10 月現在

		(病院敷地内)	本社	
	ファシリティマネジメント部 収集運搬課	施設管理部 設備管理課	業務部 業務課	管理部 総務課
従業員数	6 名	19 名	123 名	5 名
延床面積	251 m ²	100 m ²	298 m ²	

- ・ファシリティマネジメント部 収集運搬課・・・下関市小月幸町 5 番 6 号に事業場がある。
- ・ファシリティマネジメント部 施設管理課・・・下関市立市民病院管轄下にて中央監視室にある。

8. 事業年度

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日の期間。

9. 認証・登録範囲

- (1) 対象事業者名 総合管財株式会社 (現 ALSOK山口サービス(株))
- (2) 対象事業所 ファシリティマネジメント部収集運搬課・積替保管場所
 ※ファシリティマネジメント部施設管理課はテンポラリーサイトであるため、対象事業所に該当しないが、ファシリティマネジメント部施設管理課の事業活動、従業員は EA21 対象範囲である。
- (3) 対象活動 特別管理産業廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬に関する活動
 下関市立市民病院受託業務の施設維持管理に関する活動
- (4) 産業廃棄物収集運搬許可

許可地	許可番号	許可年月日	有効期限	区分	優良認定	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ト屑及び陶磁器屑	ガラス屑・コンクリート屑	木くず	がれき類	感染性産業廃棄物	廃石綿等
山口県	035500 35749	R07 4/1	R14 3/31	特管	—	—	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—	●	●
	035000 35749	R07 4/1	R14 3/31	産廃	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—
下関市	075600 35749	R07 4/1	R14 3/31	特管	—	—	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—	●	●
	075100 35749	R07 11/1	R14 10/31	産廃	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—
福岡県	040500 35749	R07 4/1	R14 3/31	特管	—	—	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—	●	●
	040000 35749	R07 4/1	R14 3/31	産廃	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—

「優良産業廃棄物処理業者認定」令和7年更新のとき取得済み。

(5) 施設・設備の状況、許可の種類

積替え保管の住所と面積と保管上限

① 下関市小月幸町982-15。

感染性廃棄物 面積・・・6.3 m² 保管上限 10.08 m³ 最大高さ・・・屋内保管

産業廃棄物 面積・・・2.24 m² 保管上限 3.44m³ 最大高さ・・・屋内保管

② 下関市小月幸町998番地11

感染性廃棄物 面積・・・6.3 m² 保管上限 10.08 m³ 最大高さ・・・2m

産業廃棄物 面積・・・38.4 m² 保管上限 76.8m³ 最大高さ・・・2m

③ 周南市大字久米字町合3120番3

感染性廃棄物 面積・・・3.44 m² 保管上限 7.22m³ 最大高さ・・・2.1m

産業廃棄物 面積・・・1.94 m² 保管上限 4.06m³ 最大高さ・・・2.1m

積替え保管の許可の種類

許可地	許可番号	許可年月日	有効期限	区分	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	及び陶磁器くず	コンクリートくず	感染性産業廃棄物
下関市	075600 35749	R07 4/1	R14 3/31	特管	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●
	075100 35749	R07 11/1	R14 10/31	産廃	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-
山口県	035630 35749	R07 4/1	R14 3/31	特管												●
	035030 35749	R07 4/1	R14 3/31	産廃	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

保有車両・・・保冷箱車 7台

(6) 収集運搬受託量

◆産業廃棄物 756,2t/年 (令和6年度実績)

●特別管理産業廃棄物 単位「kg」

感染性産業廃棄物	汚泥(有害)	引火性廃油(有害)	廃酸(有害)	廃アルカリ(有害)	廃石綿等
681,499	0	1,090	0	0	0

●産業廃棄物 単位「kg」

廃プラスチック類	コンクリートくず及び陶磁器くず	ガラスくず	金属くず	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	ゴムくず	燃え殻
59,539	8,724	2,748	1,690	627	160	120	20	0	

◆一般廃棄物収集運搬許可

許可の状況	
許可番号	第 11024 号
許可年月日	令和 6 年 4 月 1 日
許可の有効期限	令和 8 年 3 月 31 日
事業の範囲	一般廃棄物 (ごみ)
営業の範囲	奥山工場処理区 (旧下関・菊川・豊田)
施設等の状況	
運搬車両	●小型車 貨物キャブオーバ … 1 台 ●小型車 貨物バン … 1 台 ●普通車 貨物バン … 5 台
積替え保管施設	保管積替えを含まない。

●一般廃棄物 単位「kg」

可燃物	7,044 k g	下関市奥山工場にて焼却処分
不燃物	340 k g	下関市吉母管理場にて資源選別処理

機密文書 …… 2,811 k g 【古紙原料化】

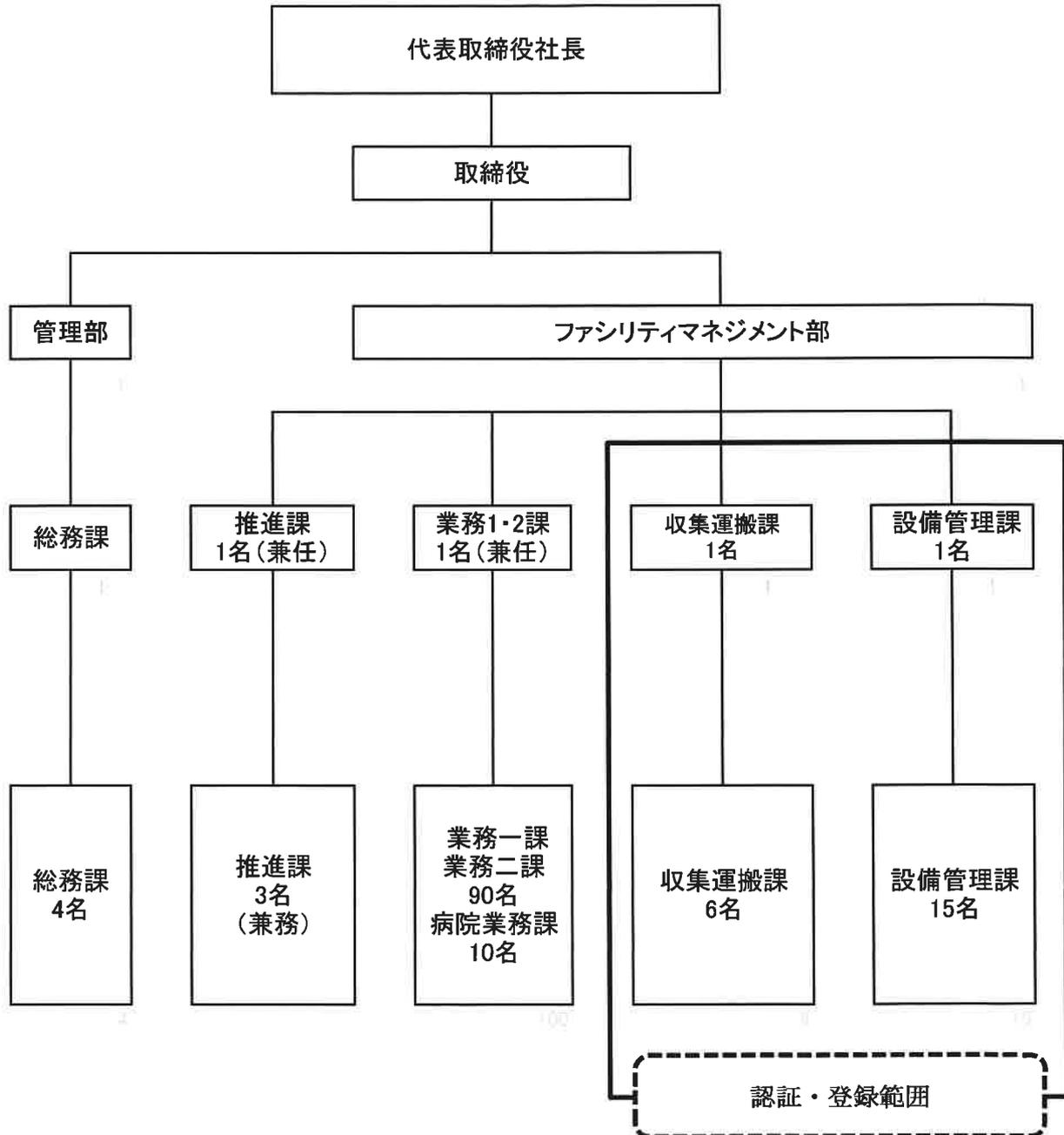
2. 組織図及び認証・登録範囲

(認証・登録範囲は以下の通り)

※令和6年4月1日時点(警備部をALSOK山口㈱へ業務統合)

※R06.10.01組織変更。

ファシリティマネジメント部へ収集運搬課及び設備管理課を併合



管理者	5名	
従業員	125名	130名

3. 令和6年度及び中長期 環境目標

環境 目標		単位	平成25年度 (基準年度)	令和5年度 目標	令和6年度 目標	令和7年度 目標	
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	50,979 ※1,2	50,469 以下 1.0%	49,959 以下 2.0%	49,450 以下 3.0%	
	1-1 電力使用量の削減	kWh	4,579 ※2	4,533 以下 1.0%	4,510 以下 1.5%	4,487 以下 2.0%	
	軽油 使用量 の 削減	1-2-2 軽油使用量の削減	18,553 ※2	18,368 以下 1.0%	18,275 以下 1.5%	18,182 以下 2.0%	
		1-2-2 ※5 燃費の向上	km/ℓ	6.53	6.621 以上 1.4%	6.628 以上 1.5%	6.634 以上 1.6%
	1-3 灯油使用量の削減	ℓ	123 ※3	114 以下 7.0%	114 以下 7.5%	113 以下 8.0%	
2	廃棄物 総排出量 の削減	2-1 自社排出 産業廃棄物削減	kg	43.7	39.3 10.0%	39.1 10.5%	38.9 11.0%
		2-2 自社排出 一般廃棄物削減	kg	175.4	157.9 10.0%	157.0 10.5%	156.1 11.0%
3	総排水量(使用水量)の削減	m3	43.9	40.8 7.0%	40.6 7.5%	40.4 8.0%	
4	グリーン 購入 の 推進	4-1 エコ容器推進/切替 (医療廃棄物回収容器)	累計 件数	1件 ※4	28 件以上	30 件以上	32 件以上
		4-2 省エネ車両の推進 (省エネ車両/保有台数)	%	25% ※6	75% 現状維持	75% 購入検討	80% 購入検討
5	サービスに 関する事項	顧客先満足度向上 (回収忘れ/クレーム等)	件数	2 件	0 件	0 件	0 件
6	地域社会 への 環境活動	6-1 会社周辺の清掃	回数	2回/月	3回/月	3回/月	3回/月
7	化学物質	化学物質使用量の削減	※使用が無いため取組みはありません。				

※1 電気の二酸化炭素実排出係数は、中国電力のR4年度の0.529kg-CO2/kWhを適用。

※2 R5年 夏季の高温化に伴う『電力使用量』及び、新規受託先増加に伴う『軽油使用量』の環境目標数値の見直し再設定。二酸化炭素排出量の削減数値も変更。(R4年度を基準値再設定)

※3 H28年1月 項目追加。灯油使用開始(ストーブ設置)。都市ガス使用なしのため廃止。

※4 グリーン購入の推進についての、エコ商品購入の推進の回収容器は医療系廃棄物回りサイクル素材を使用したエコ商品に切り替えること。

※5 平成31年度から業務請負状況にて増減し指標が安定しないため、『仕事毎の燃料使用量』から『燃費の向上』に変更した。(二酸化炭素排出量の削減に関する事項に追加)

※6 H31年目標値再設定。低公害車の導入(平成22年基準低排出ガス車、平成27年度 燃費基準達成車を指す)

4. 令和6年度の主要な環境活動計画

4-1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減

夏⇒日よけ対策でシェードを実施。

冬⇒エアコン停止しストーブにて暖房。

温水器/エアコン未使用時期にブレーカーを OFF し待機電力削減。

サーキュレーター使用し省エネ運転。

エアコンのフィルターを定期的に清掃。

電気使用削減の為、省電力モードに設定する

未使用時の電源 off を行う。

(2) 軽油使用量の削減

運転経路の見直し

エコドライブのアイドリングストップの徹底

R7年7月～R6年10月の時期のクールシェア場所の提案

定期的な点検（タイヤ空気圧/エアクリーナ）

(3) 灯油使用量の把握

室温管理を行いながら灯油の使用量を削減し、冬季暖房電力消費量抑制に寄与。

4-2. 廃棄物総排出量の削減

(1) 産業廃棄物の削減

分別の徹底とリサイクル可能な物品の購入やマイボトル化を行う。

(2) 一般廃棄物の排出量の把握と削減

分別の徹底と削減の抑制と適正処分。

廃棄ダンボールの再利用化と再資源売却。

プリントミス削減とコピー用紙の裏面再利用化と再資源売却。

4-3. 総排水量の削減

(1) 水道使用量の集計と削減

こまめな節水を実施。

雨水の活用、畑に散水、洗車時に使用。

4-4. グリーン購入の推進

(1) グリーン商品の導入

再プラスチック利用の回収容器の使用を推進し累計 28 件以上切り替える。

消耗品購入時は地産地商を推進検討する。

(2) 省エネ車両の推進

低公害/低燃費車両の導入の調査検討。

4-5. サービスに関する事項

(1) 顧客満足度向上

回収忘れなし。

クレーム「0件」。

4-6. 地域社会への環境活動

(1) 会社周辺の清掃

1回/月の会社周辺の清掃活動の実施。

(2) 地域清掃ボランティアへの参加。

地域清掃活動に定期的に参加。

5. 期間内の目標と実績

令和6年4月～令和7年3月の運用の期間の目標に於ける実績は以下の通りであった。

環境 目標		単位	令和元年度 (基準年度)	令和6年度 目標	令和6年度 実績	令和6年度 評価		
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	50,979 ※1、2	49,959 以下 2%	47,696 6.9%	○		
	1-1 電力使用量の削減	kWh	4,579 ※2	4,510 以下 1.5%	5,189 -13.3%	×	目標数値再設定も『夏季猛暑日増加』に伴い増加している。	
	軽油 使用量 の 削減	1-2-1 軽油使用量の削減	ℓ 18,553 ※2	18,275 以下 1.5%	17,351.0 6.5%	○		
		1-2-2 ※5 燃費の向上	km/ℓ 6.530	6.628 以上 1.5%	7.213 10.5%	○		
	1-3	灯油使用量の削減 (都市ガス使用なし)	ℓ 123.0 ※3	113.8 以下 7.5%	112.0 8.9%	○		
2	廃棄物 総排出量 の 削減	2-1 自社排出 産業廃棄物削減	kg 43.7	39.1 10.5%	38.9 11.0%	○		
		2-2 自社排出 一般廃棄物削減	kg 175.4	157.0 10.5%	94.0 46.4%	○		
3	総排水量(使用水量)の削減	m3	43.9 ※2	40.6 7.5%	40.5 7.7%	○		
4	グリーン 購入の 推進	4-1 エコ容器推進/切替 (医療廃棄物回収容器)	累計 件数 1件 ※4	30 件以上	31 件	○		
		4-2 省エネ車両の推進 (省エネ車両/保有台数)	% 25% ※6	75% 購入検討	75% 購入検討	○	令和6年12月に納車(ハイブリッド車)	
5	サービスに 関する事項	5-1 顧客先満足度向上 (回収忘れ/クレーム等)	件数 2 件	0 件	0 件	○		
6	地域社会 への 環境活動	6-1 会社周辺の清掃	回数 2回/月	3回/月	4回/月	○		
7	化学物質	化学物質使用量の削減	※使用が無いため取組みはありません。					

※1 電気の二酸化炭素実排出係数は、中国電力のR4年度の0.529kg-CO2/kWhを適用。

※2 R5年 夏季の高温化に伴う『電力使用量』及び、新規受託先増加に伴う『軽油使用量』の環境目標数値の見直し再設定。二酸化炭素排出量の削減数値も変更。(R4年度を基準値再設定)

※3 H28年1月 項目追加。灯油使用開始(ストーブ設置)。都市ガス使用なしのため廃止。

※4 グリーン購入の推進についての、エコ商品購入の推進の回収容器は医療系廃棄物回収容器を、リサイクル素材を使用したエコ商品に切り替えること。

※5 業務請負状況にて増減し指標が安定しないため、『仕事毎の燃料使用量』から『燃費の向上』に変更した。(二酸化炭素排出量の削減に関する事項に追加)

※6 H31年目標値再設定。低公害車の導入(平成22年基準低排出ガス車、平成27年度 燃費基準達成車を指す)

★ファシリティマネジメント部 収集運搬課部門

廃棄物収集運搬部 過去3年間の推移

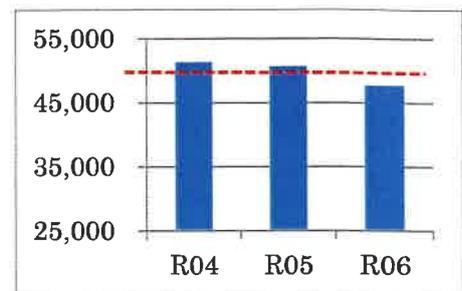
環境 目標		単位	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	51,335	50,636	47,696	
	1-1 電力使用量の削減	kWh	4,579	4,763	5,189	
	軽油 使用量 の 削減	1-2-1 軽油使用量の削減	ℓ	18,553.2	20,641.0	17,351.0
		1-2-2 ※5 燃費の向上	km/ℓ	6.673	7.319	7.213
	1-3 灯油使用量の削減 (都市ガス使用なし)	ℓ	80	100	112	
2	廃棄物 総排出量 の 削減	2-1 自社排出 産業廃棄物削減	kg	33.0	38.0	38.9
		2-2 自社排出 一般廃棄物削減	kg	118.0	114.0	94.0
3	総排水量(使用水量)の削減	m3	38.7	46.0	40.5	
4	グリーン 購入の 推進	4-1 エコ容器推進/切替 (医療廃棄物回収容器)	累計 件数	27 件	27件	31 件
		4-2 省エネ車両の推進 (省エネ車両/保有台数)	%	75%	75%	75%
5	サービス に関する 事項	5-1 顧客先満足度向上 (回収忘れ/クレーム等)	件数	0 件	0 件	0 件
6	地域社会 への 環境活動	6-1 会社周辺の清掃	回数	4回/月	4回/月	4回/月
		6-2 地域清掃 ボランティアへの参加	回数	0	0	0
7	化学物質	化学物質使用量の削減	※使用が無いため取組みはありません。			

6. 環境活動計画の取組結果とその評価

6-1. 二酸化炭素排出量の削減

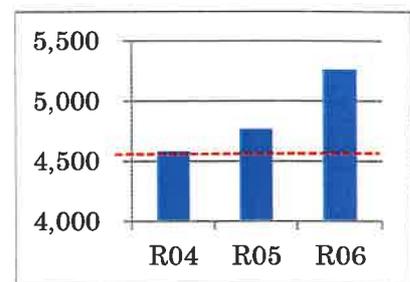
目標を 2.0%削減としたが、実績は 6.9%達成。
請負先減少に伴い軽油使用量が減少した。
猛暑日の増加の影響から熱中症対策で事務所の
エアコン使用機会が増加したことが悪化要因と
なった。

(グラフの赤線が目標ライン)



(1) 電気使用量の節電

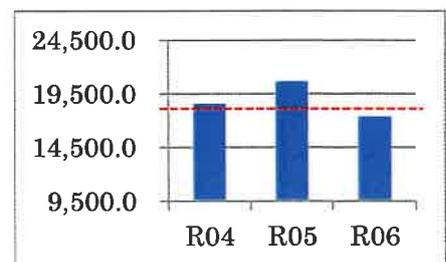
前年度を基準として、毎年の節電を推進。
目標を 1.5%削減としたが、**-13.3%**と**未達成**であった。
夏季の猛暑日増加によるエアコン使用が増えた。
また、事務ワークが増加したこともある。



(2) 軽油使用量の削減

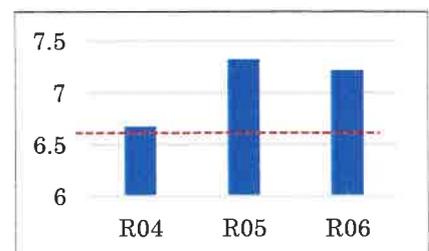
①軽油使用量の削減

1.5%削減目標を、6.5%で達成できた。
請負先減少に伴い、走行距離が減少したことで
軽油使用量が減少した。



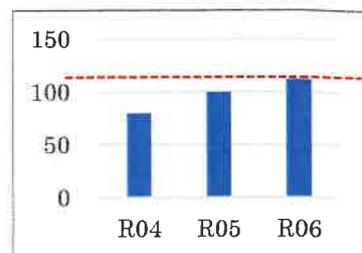
②燃費向上による軽油使用量の削減

基準値の 1.5%の向上目標に対し 10.5%目標達成
であった。エコドライブ及びアイドリングスト
ップ徹底など意識づけ影響で燃費が向上した。
熱中症対策で休憩時エアコンを使用し燃費は悪化
傾向にある。クールシェア場所の検討は、運行経路
の近くに良い場所がなく断念した。



(3) 灯油使用量の削減

削減目標の基準 7.5%だが、8.9%と達成となった。
暖冬の影響で減少した。



6-2. 廃棄物総排出量の削減

自社から排出される廃棄物の分別の徹底を行い削減に取り組。
また、再資源化できるものはリサイクルし最終処分しない様にした。

R4/4~R5/3 収集運搬課

	自社排出 産業廃棄物 (kg)					自社排出 一般廃棄物 (kg)				全 体
	廃プラスチック	ガラスくず	金属くず	ペットボトル	合計	古紙	廃ダンボール	その他・ゴミ類	合計	
	基準 43.7 以下 目標 39.1 以下					基準 175.4 以下 目標 157.0 以下				
	実績 38.9 11.0%					実績 94.0 46.4%				
排出量	14.9	1.0	7.0	16.0	38.9	24.0	46.0	24.0	70.0	108.9
売却量	—	—	—	—	—	24.0	46.0	—	70.0	70.0
再利用	14.9	1.0	7.0	16.0	38.9	—	—	—	—	38.9
最終処分率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	—	13.4%

(1) 自社排出 産業廃棄物の削減

削減目標を基準の 10.5%削減としたが、実績は 11.0%削減で達成できた。
再利用出来る物と出来ない物を分別し、収集廃棄物の汚れ防止などの梱包材に使用

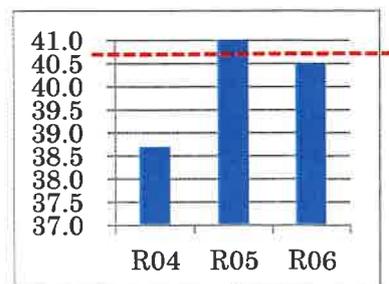
(2) 自社排出 一般廃棄物の削減

削減目標を基準の 10.5%削減としたが、実績は 46.4%削減で達成できた。
新規社員への教育が寄与し大幅削減となった。

6-3. 総排水量の削減

(1) 水道使用量の削減

削減目標を基準の 7.5%削減とし、7.7%で達成となった。
受託減少で洗車回数の減少したため。



6-4. グリーン購入の推進

(1) グリーン商品の導入

各診療所にリサイクル素材使用の医療系廃棄物回収容器のお知らせを行い周知した。
累計切り替え件数 30 件を目標としたが 31 件と達成であった。

(2) 省エネ車両購入の推進

目標達成率を基準の 75%とした。実績は 75%で達成できた。
使用 13 年以上の車両の買換えで、ハイブリッド車を購入。
今後も検討を続けてゆく。

6-5. サービスに関する事項

(1) 顧客満足度向上

回収忘れ及びクレーム「0 件」が達成できた。
些細な依頼も笑顔で対応することが出来た。

6-6. 地域社会への環境活動

(1) 会社周辺の清掃

毎週実施を心掛け平均 4 回/月が今年も実施できた。

(2) 地域清掃ボランティアへの参加

産廃協会主催の海水浴海岸清掃ボランティア活動に参加する予定であったが、
業務多忙により調整できず不参加となった。

7. 令和7年度の取組内容

7-1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減

続けてきた節電対策を行いつつ、季節の節電も実施する。
事務所の電気使用を適切に実行する。

(2) 軽油使用量の削減

軽油使用量の削減のため燃費向上に取り組む。
道路状況等を把握し使用量を削減できる運行案を検討する。
処分場での待機ロスを減少の為、搬入時の渋滞時間帯の把握。

(3) 灯油使用量の削減

室温/湿度を管理し削減してゆく。
担当者を決めて室内温度管理を徹底する。

7-2. 廃棄物総排出量の削減

(1) 自社排出 産業廃棄物 / 自社排出 一般廃棄物の排出量削減

納品時の梱包ダンボール・包装ビニールを産廃梱包材に再利用。
また、消化できずに余ったものは、再資源化処理業者への委託。
新入社員への教育の徹底で My ボトル化及び可燃ゴミの削減を推進。

7-3. 総排水量の削減

(1) 水道使用量の削減

車両積載コンテナ内の汚れ防止ための廃棄物事前梱包を行い、洗車時の節水を推進したい。 雨水の再利用化も継続する。

7-4. グリーン購入の推進

(1) グリーン商品の導入

環境負荷軽減に寄与するリサイクルペール容器の使用を病院側に勧め累計 32 件切り替える。

(2) 使用 13 年以上の車両の買換え検討。省エネ車両を検討する。

7-5. サービスに関する事項

(1) 顧客満足度向上

顧客ニーズに対応し迅速提供を行いクレーム「0件」を達成してゆく。

7-6. 地域社会への環境活動

(1) 会社周辺の清掃/地域清掃ボランティアへの参加

産業廃棄物協会主催の清掃活動に参加したい。

8. 環境関連法規への違反・起訴等の有無

環境関連法規の遵守状況のチェックの結果違反はありませんでした。

尚、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの起訴等も、法人設立以来ありません。

確認日：令和7年 11月 7日 確認者：仙田

法律・条例 ・規則	適用対象		遵守状況の確認結果
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物収集運搬業 ・産業廃棄物収集運搬業 ・特別管理産業廃棄物収集運搬業 	許可証の更新及び変更	適正に申請及び変更がなされている。環境活動レポート3, 4ページに記載。
		積替え保管場所の表示	適正に表示、運用されている。
		廃棄物収集運搬車両	収集運搬車両すべてに表記を行い、各州市の収集運搬許可書の写しを携行。
		廃棄物等の焼却禁止	焼却はしておらず適正に処分。
		運搬容器	廃棄物ごとに適性の容器を使用し運搬。 ◆特別管理産業廃棄物（感染性廃棄物）バイオハザードマークを表示させ、密閉の出来る容器、袋等にて収集運搬。
		処理困難通知	現在までに当該事象が無いため問題なし。 受託した廃棄物の処理が困難になった場合に、10日間以内に排出事業者へ通知する。
		産業廃棄物管理票	必要事項を記載した管理票と廃棄物と伴に携帯し運行。運搬終了後、紙の管理票は10日間以内に返却。電子の管理票は、3日間以内に運搬完了処理を行う。
		廃棄物収集運搬の記録票	収集運搬に当たっては、排出元の名称と住所/引渡日/廃棄物の種類/運搬方法/運搬先/数量/保管の有無を運搬記録票に記載し行っている。
	一般廃棄物処理業	許可証の取得及び更新・事業の範囲	環境活動レポート5ページに記載。
		帳簿作成及び保存	下関市に毎月提出済

環境基本法	自社排出廃棄物		分別を行い一般廃棄物/産業廃棄物ごとに適正に処理。
循環型社会形成推進基本法	循環型社会の形成	環境活動の推進	EA21 活動を通じて環境への負荷の少ない取り組み及び廃棄物のリサイクルの推進。
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス	温室効果ガスの排出の抑制	
グリーン購入法	物品の購入	廃棄物梱包用ペール容器	再生プラスチックのペール容器の切替を推進。
フロン排出抑制法	・事務所の業務用エアコン ・冷蔵車両（収集運搬車両）	3ヶ月に1回以上の簡易点検の実施	簡易点検等を実施。
家電リサイクル法	特定家庭用機器	特定家庭用機器譲渡し	家電リサイクル法を厳守し適正に対応。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

近年の夏季の猛暑日増加及び秋まで続く残暑によるエアコン使用頻度増加が主たる要因として電力使用量削減の目標が達成できていないが、諸対策は確実に実施されている。今後も、きめ細かい室温管理及び諸対策の実施を行って行く。

猛暑日の増加する夏季にあっても燃費悪化になっていないことは、従業員の省エネ意識が大きく寄与していると思う。

軽油使用量の削減に関する事項の指標『燃費向上』は、業務増においての走行距離増加においても環境負荷の軽減に寄与でている指標となるため引き続き、エコドライブなど対策を継続し推進したい。

収集運搬車両の買替えを行い、和6年12月に低燃費車両ハイブリッド車の購入・稼働を行い、軽油使用量の抑制に寄与できると確認している。

一部の民間企業からは廃プラスチック類回収後にプラスチック素材別に分別し業者を通じて再生資源化する業務を行っており、今後は、電子機器などから基盤分別を行うリサイクルを検討している。

10. その他

実施訓練風景

緊急事態連絡



タイヤ交換



後続車への注意喚起